

# 就労移行支援事業

有限会社 船坂酒造店

有楽社長にインタビューしてきました！！

## ・御社のPR 〈キャッチフレーズ〉

大酒き♡飛騨高山から世界を酔わす！

## 〈PR〉

飛騨高山の観光メインストリート「古い町並み」に所在する200年以上続く造り酒屋。高山の食品や小物等とともに自社の酒を直売する土産物店、飛騨牛などの食材とともに自社の酒を楽しむ飲食店を併設し、「造るところから、口に入り、お土産購入するまで」を一貫して楽しめる日本酒のテーマパークとして、飛騨高山の観光満足度を向上させるため、運営している。

## ・障がいのある方を実習で受け入れようと考えたきっかけは？

1. 人手不足（会社は人が欲しい、障がい者の方は働きたいけど働けないというミスマッチが起こっている。出来る部分で手伝ってもらおうと考えた）
2. 「日本でいちばん大切にしたい会社」（著：坂本浩二さん）や、日本理化学工業株式会社の記事を読んで、障がいのある方を地域で支えていくことはできないか考えたため。

## ・実際に青空作業所の障がい者を実習で受け入れた感想は？

熱心に仕事をする。特性の高い人が多いので、その部分を活かすことで、人手不足の解消にもなる。（今まで従業員がやっていたことをしてもらえると、その分従業員が接客等他の仕事へまわることができる）

## ・青空作業所の移行支援事業訓練生を雇用しての率直なご意見

◎良い点・・・素直、一生懸命、正確

◎もっと改善してほしいことは？

・・・もう少し元気を出してほしい

仕事と休憩のON・OFFは大事だが、仕事中でもON・OFFを作っているのでは、仕事ではプロとして仕事をしてほしい

## ・青空作業所に期待することは？

新しいことを取り入れ、チャレンジして、それをグループ全体に広げていきたいと考えている。作業所と連絡を取り合って情報交換をしていきたい。

## ・御社の障がい者雇用に対するお考えは？

出来ない部分に目を向けると雇用は難しい…となるので、出来る部分、得意な部分を見てあげて、そこをどう活かせるか考えてあげたい。



## 就職されたお二人の近況報告

Q.就職が決まった時はどんな気持ちでしたか？

A.就職先が見つかってよかったです。

A.少し不安でしたが、船坂酒造のスタッフさんが優しく安心しました。



Q.就職して嬉しかったことはありますか？

また、どんなことにやりがいを感じていますか？

A.会社では皆さん優しいので嬉しいです。一人でバスで通勤できることと、仕事が終わってからバスの時間までに高山図書館でゆっくりできるので嬉しいです。

A.工場での段ボールの組み立てや、化粧箱の組み立て、あと、掃除ではモップ掛けと掃除機掛けにやりがいを感じます。

Q.働いていて困ったことはありますか？

A.トイレトペーパーがなくなったので場所はどこにあるか従業員さんに聞きました。手が荒れるので痛いです。

カットバンや手袋をしています。

A.特にはないです。



Q.今の職場でどんなことを頑張っていきたいですか？

A.カゴが重いので手伝ってほしいと思うけど、一人で頑張っています。

A.いつも通りの作業だけでなく、違う作業も頑張っていきたいです。

Q.最後に就職を希望している人へのメッセージをお願いします。

A.支援員さんに相談してってください。

A.慌てず、落ち着いて、何事も慎重に、色々経験を積んで頑張ってください。



# 就労継続支援B型事業

お知らせ！！

- 青空作業所の自主生産品を取りあついただけたお店が増えました

この度、素敵なお縁をいただき、花里町にある「A-Z」さんにて青空作業所の自主生産品を取り扱っていただけることになりました。



はじめて納品させていただくまでに、法人のことを知っていただく為のミニパンフレットのような物が良かったというご意見や、商品のラッピングや店頭で置くPOPについて貴重なアドバイスをいただき試行錯誤を繰り返しました。

商品を作るメンバーさん達は、「新しく商品を取り扱っていただけるお店が増える！」とはりきって取り組まれました。たくさん商品がお客様の元に届くには、季節やイベントを意識した方が良く、春らしいカラー、桜やチューリップを取り入れた商品の作成に取り組んでいます。

「A-Z」さんの営業時間は11時～19時、定休日は火曜、水曜となっています。是非足を運んでみてください。



## 青空作業所のOB会を開催しました

去る3月18日の日曜日、青空作業所から就職した方々との交流を目的としたOB会を開催しました。今回は日程の都合が悪い方が多く、残念ながら参加者は4名でした。

まず、スタッフも参加してボーリングを楽しみました。ある参加者は、「ボーリングは3年ぶり。とても楽しかった。」と話してみえました。

ゲーム終了後は、近くのホテルでティータイム。仕事の近況や生活の様子などを聞かせて頂きました。車を買って休日はドライブ、居酒屋デビューなど、充実した生活の様子を聞かせて頂き、とても嬉しく思いました。

今後どのようなOB会を企画したら良いか、参加者に希望を聞いたところ、「日帰りドライブに行ってみたい」という意見を頂いたので、次回は検討したいと思います。今回は参加者が少なく残念でしたが、これからもこのような機会を通して、OBとの交流を図っていききたいと思います。



# 青空通信

NPO 法人 ウェルコミュニティ飛驒 青空作業所  
高山市山口町 1297-1 0577-35-1559  
<http://welcomhida.web.fc2.com/>  
平成30年 4月 10日発行 第36号



ご挨拶



理事長 柏木 真司

日頃より、関係する皆様方には大変お世話になり、深く感謝申し上げます。

新年度は、報酬改定や新規事業である就労定着支援の実施など、事業運営に大きく関わる事柄に対応していかなくてはならず、慌ただしい年度始まりとなっています。報酬改定に関しては、なかなか厳しい内容となっていますが、改定に至った経緯は十分理解できることから、更なる就労移行の推進と工賃向上に努めていきたいと思っております。

さて、昨年流行語大賞に選ばれた「忖度」という言葉は、マスメディアの扱われ方からマイナスイメージを持ってしまっていますが、本来は「他人の心情を推し量ること。また、推し量って相手に配慮すること」といった意味であり、私たちの暮らしの中でとても大切にしなければならないことです。

障害者差別解消法という合理的配慮は、障がいのある方からの申し出により配慮することとなっていますが、本来は周囲の方々が障がいのある方の心情を推し量り、配慮して頂く「忖度」であるべきだと思います。政治の世界では敬遠される忖度ですが、福祉の世界では大切にされることを願います。

平成30年度も「一人ひとりを人生の主役に」を活動モットーにし、職員一同取り組んで参ります。変わらず皆様のご指導、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

